

■全校集会による学校長講話

(豊浦町)

Point

防災に関する学校長講話を実施し、児童の防災に対する意識を高める

- 学校名 豊浦町立豊浦小学校
- 実施学年 全学年
- ねらい これまでにあった災害の避難体験や防災に関わる様々な好事例などを取り上げた防災に関する講話を通して、児童の防災意識の向上を図る。
- 内 容

○主な活動	○教師等の働きかけ	備考
○防災に関する学校長講話 ○児童による振り返りと一日防災学校の事前学習	○これまでに発生した大きな地震についての説明 ○避難訓練などの日常的な備えについての説明 ○学習後の振り返りの実施	○後日、1日防災学校（避難訓練、避難所運営体験、防災カルタ体験等）を実施

●児童の声

- ・今まであまり考えていなかったけど、災害は、本当にいつ起こるか分からないので、今日の話きっかけに防災について知っておくことが大切だと思った。
- ・胆振東部地震の停電で大変だったことを思い出した。今後も地震が起こったら身を守る行動ができるようにしたい。
- ・防災のことを改めて考えることができた。一日防災学校を「本気」で取り組みたい。



【学校長の講話の様子】



【事後に行った一日防災学校の様子】

■体験を多く取り入れた防災教育

(洞爺湖町)

Point

体験活動を重視した防災教育

- 学校名 洞爺湖町立虻田小学校
- 実施学年 全学年
- ねらい 全校一斉の地震津波避難訓練、段ボールベッドや新聞紙スリッパ作りなど楽しみながら避難行動の知識や行動力を身に付ける。
- 内 容

○主な活動	○教師等の働きかけ	備考
○大津波訓練 ○防災ダック、防災カルタ ○段ボールベッド、新聞紙スリッパ作成 ○ハザードマップについて ○防災についての作文	○実施前に児童に活動内容の目的を説明した ○防災担当者が計画・実施した	○1日防災学校も兼ねて実施 ○学年に応じて活動を変えた

●児童の声

- ・自分の命を守るためには、訓練を思い出して冷静に逃げるのが大切だと思った。
- ・津波の時は、早く高いところに行くのが大切だと思った。
- ・みんなで助け合えば一人の命ではなくて多くの命が助かると思う。



【 段ボールベッド作り 】



【 防災ダックで避難行動を体験 】

■一日防災学校による体験学習

(壮瞥町)

Point

防災に関わる体験的な活動を通し、防災への意識を高める

- 学校名 壮瞥町立壮瞥小学校
- 実施学年 全学年
- ねらい 役場防災係による段ボールベッドの組み立て、赤十字奉仕団によるハイゼックスを使用した炊飯試食など体験的な学習を通して、生徒の防災意識向上を図る。

●内 容

○主な活動	○教師等の働きかけ	備考
○防災かるた ○新聞紙スリッパの作成 ○段ボールベッドの組み立て ○災害時の応急処置 ○ハイゼックスによる炊飯	○有珠山噴火時を想定して活動をおこなった ○外部講師に活動の主な説明と指導を行ってもらった	○1日防災学校を兼ねて実施

●児童の声

- ・新聞紙スリッパは簡単だったので、お家の人にも作ってあげたい。(2年生)
- ・実際に有珠山が噴火して避難生活が始まると、とても不便だと感じた。(4年生)
- ・水がないときには、お茶や牛乳でもごはんを炊けることが分かった。(6年生)



【段ボールベッド組み立ての様子】



【ハイゼックスによる炊飯の様子】

Point

講話や指定避難所への避難の実施、ワークシート活用を通して、生徒の防災意識を高める

- 学校名 壮警町立壮警中学校
- 実施学年 全学年
- ねらい 指定避難所への避難訓練、三松正夫記念館館長の講話、災害状況を想像する力を身につけるためのワークシートを活用し、生徒の防災意識を高める。
- 内 容

○主な活動	○教師等の働きかけ	備考
○有珠山噴火を想定したバスを利用した避難訓練 ○災害対応をシミュレーションするワーク学習 ○昭和新山についての講話	○実施前に活動内容の目的を説明し、生徒の理解を深化 ○ワークシート記入時に、生徒がシミュレーションしやすいように適宜、指導・助言	○1日防災学校も兼ねて実施

- 生徒の声
- ・1年生～ヘルメットをかぶり、バスを利用した避難訓練は初めての体験だったので、緊張感をもって参加できた。
- ・2年生～ワークシートを活用しながら災害時の対応のシミュレーションをすることで、災害に対する意識が高まった。
- ・3年生～昭和新山の誕生から現在までの歴史を詳しく知ることができた。



【指定避難場所への避難訓練】



【昭和新山についての講話】

■胆振東部地震の経験から児童に考えさせたいこと (白老町)

Point

大きな地震に関する講話から、日頃からの「備え」と「地域のつながり」の大切さを学ぶ

- 学校名 白老町立萩野小学校
- 実施学年 全学年
- ねらい 地震の恐ろしさを確認し、日頃からの災害に対する備えや友だち・地域のつながりの大切さを学ぶ。
- 内 容

○主な活動	○教師等の働きかけ	備考
○校長の講話 ○自分の感想をもつ	○校長の講話から、友だちや地域とのつながりの大切さ、命を守るための具体的な行動を考えさせる	

●児童の声

- ・地震でぐちゃぐちゃになった教室の写真を見て、恐ろしさを感じた。
- ・友だちや地域の人たちとのつながりの大切さを感じた。
- ・いつ地震が起きても対応できるように、心の準備をしておきたいと感じた。



【各教室で、画像を見ながらの講話】



【地震発生後の教室の画像】

■避難訓練

(安平町)

Point

地震による避難訓練実施により防災の意識を高める

- 学校名 安平町立早来学園
- 実施学年 全学年
- ねらい 地震の非常事態に対し、基本的な避難の仕方を身につける。
休み時間において、児童生徒自身が冷静沈着に判断し避難する態度を身につける。
- 内 容

○主な活動	○教師等の働きかけ	備考
○揺れがおさまるまで安全に身を 守って待つ ○放送の指示に従って、落ち着いて、 かつ速やかに避難場所に避難し、 静かに並んで待つ	○事前指導 ○安全確認 ○誘導 ○人員確認	

- 児童生徒の声
 - ・休み時間の避難の仕方がわかった。
 - ・何かあった時のために、備えや心構えをしっかりとしておく。
 - ・いつ震災があるかわからないので、これからも訓練を大切にする。



【避難場所に集まった様子】



【学校長講評の様子】

■避難所運営体験を通じた1日防災学校

(厚真町)

Point

道徳、講話、体験的な学習を実施し、生徒の防災意識向上を図る

- 学校名 厚真町立厚南中学校
- 実施学年 全学年
- ねらい 防災・災害に関連した道徳授業、大学教員による講演、避難所運営体験を通して、生徒の防災意識向上を図る
- 内 容

○主な活動	○教師等の働きかけ	備考
○防災・災害に関連した道徳授業 ○大学教員による講演 ○避難所運営体験	○教室で担任・副担任による道徳授業を実施 ○冬季を意識した防災について考えさせた ○地域住民も交えて避難所運営体験を行うことで、様々な意見を交流させた	○1日防災学校も兼ねて実施 ○地域住民の方々も参加

●児童生徒の声

- ・避難所には、健康な人、高齢者、体の不自由な人がいて、様々な考え方の人がいるから話し合うことが必要だと思った。
- ・人が多くなるほど難しく、いろいろな感情や事件が起きるけどみんなで支え合っていけば大丈夫だと感じた。



【道徳授業を通して防災意識を高めた】



【地域住民も参加した避難所運営体験】

■災害の発生に備えた避難訓練

(むかわ町)

Point

地震や津波から身を守るため、安全な場所に冷静かつ迅速に避難できるようにする

- 学校名 むかわ町立鷗川中央小学校
- 実施学年 全学年
- ねらい 地震などの非常事態に対し、指示を守り、冷静沈着に行動して適切な避難ができるようにする。
- 内 容

○主な活動	○教師等の働きかけ	備考
○災害が発生してから消防署へ避難するまでの流れの体験 ○消防士からのアドバイス ○集会にて地震や津波の危険性や避難について説明	○実施後の集会にて今回の訓練の目的や大切さを説明し、児童の関心・理解を深めた	

●児童の声

- ・津波の怖さがよく分かった。
- ・津波が起きた時には素早く安全に行動できるようにしたい。
- ・日ごろから避難グッズを身近に備えておいてすぐに対応できるようにしたい。



【地震発生時に消防署の屋上まで避難してきた児童達】

■避難訓練に係る体験的学習

(室蘭市)

Point

体験的な学習を実施し、生徒の防災意識向上を図る

- 学校名 室蘭市立星蘭中学校
- 実施学年 全学年
- ねらい 生徒、職員に地震発生の際の対処方法を確認させると同時に、避難経路を理解させる。火災の状況に応じて臨機応変に対応する力を育成する。
- 内 容

○主な活動	○教師等の働きかけ	備考
○教職員による避難訓練講話 ○避難所「あいくる」までの徒歩移動、経路の確認 ○【子供版】（土砂災害編）警戒レベルに関する映像の視聴 ○避難場所への移動経路上の危険個所の確認	○実施前に生徒に活動内容の目的を説明した ○振り返り活動を実施し、生徒の関心・理解を深めた	○実際に、全校生徒で避難所である「あいくる」までの徒歩移動を実施

●生徒の声

- ・避難所である「あいくる」の位置を知らなかったなので、意味のある訓練だと思った。
- ・1列で歩いて、細い道が多く、車が来たら危険だなと思った。
- ・実際に警報が出て避難するとしたら、交通量が増えることが想定されるので、交差点ごとに気をつけてみる必要があると感じた。



【教員による防災講話の様子①】



【教員による防災講話の様子②】

■人材を効果的に活用した体験的な学習

(苫小牧市)

Point

体験的な学習による地震や津波の理解と主体的な行動力の向上

- 学校名 苫小牧市立若草小学校
- 実施学年 全学年
- ねらい 防災教育アドバイザー・気象庁・大学生・苫小牧市の協力を得て体験的に学習することにより、地震や津波の怖さを知る。
災害時に子ども自身が適切に判断し、命を守る行動を主体的にとれる。

●内 容

○主な活動	○教師等の働きかけ	備考
○気象庁職員・大学生による津波の講話と寸劇（1～4年） ○大学生による津波再現装置を用いた実験（5～6年） ○苫小牧市危機管理室による避難所運営ゲームの実施（5～6年）	○教師が支援役に徹して、児童の主体的な活動を促した ○実施前に生徒に活動内容の目的を説明した ○振り返り活動を実施し、生徒の関心・理解を深めた	○1日防災学校も兼ねて実施 ○保護者も参観

●児童の声

- ・学んだ津波の怖さを家族にも伝えたい。
- ・実験で津波の危険性がよく分かった。地震が来たらすぐ避難できるようにしたい。
- ・避難所運営ゲームは、5年生の時はよく分からないまま終わったが、2年連続で行ったことで、今年はいろいろな状況を考えながら取り組めた。



【津波からの避難を学ぶ寸劇】



【津波の怖さを知る実験】

■ 鷺別小学校 一日防災学校

(登別市)

Point

胆振東部地震の日にあわせて、防災意識を高める一日にする

- 学校名 登別市立鷺別小学校
- 実施学年 全学年
- ねらい 防災意識を高め、身の安全を確保する手立てを知る。
- 内 容

○主な活動（防災授業+避難訓練）	○教師等の働きかけ	備考
【防災授業】 <ul style="list-style-type: none">○1年 防災かるた○2年 新聞スリッパづくり○3年 避難所生活での眠り方○4年 津波のメカニズム○5年 自然災害から身を守ろう○6年 災害時ボランティア活動を学ぼう	<ul style="list-style-type: none">○地域人材を外部講師として招いて授業を実施した○実施前に児童に活動内容の目的を説明した○振り返りの活動を行い、児童の防災に対する意識を高めた	<ul style="list-style-type: none">○胆振東部地震の日に合わせて、実施○毎年同じ学年で、同内容の授業を実施

●児童の声

- ・電気がなくなったら、大変だと思うけど、どうすればいいか考えることができた。
- ・災害の時は、普段使っているものが使えなくなることがあるので、備えたほうがいい。
- ・津波がどのようにして起こっているのか、実験を見てわかった。



【3年 段ボールベッドの組み立て】



【全学年 屋上への避難訓練】

■保護者・地域と共に行う一日防災学校

(伊達市)

Point

保護者、地域住民の方とともに命を守る防災教育の充実を図る

- 学校名 伊達市立東小学校
- 実施学年 全学年
- ねらい 地震、津波、噴火などの身近で起きうる自然災害について正しく理解し、防災・減災行動について自ら考え、判断できる力の育成を図る。
- 内 容

○主な活動	○教師等の働きかけ	備考
○津波避難訓練（地域住民の参加） ○1年 親子防災教室・引き渡し訓練 ○2年 火山マイスターによる講話 ○3年 消防署見学 ○4年 段ボールベッド作り ○5・6年 防災教育講話、AR浸水体験	○急遽、停電が起こった想定で避難訓練を行い実践的な対応力の育成を図った ○市防災課や消防署、NHK札幌等の協力による体験型の学習を行った	○1日防災学校として実施 ○保護者、地域住民の参加

●児童の声

- ・家に帰ったら家族全員の防災スリッパを作ってあげたい。
- ・噴火の前には地震があることが分かった。地震が起きたらシェイクアウトで身を守る。
- ・震災の時には、落ち着いて命を守る行動をしたい。



【親子防災教室～防災スリッパ作り】



【NHK札幌によるAR浸水体験】